

## 第2回郡山市学校教育審議会・特別委員会 議事内容

日 時	令和2年2月17日(月) 午後1時30分～2時15分
場 所	郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
出席者	<p>【特別委員：4名】</p> <p>富田孝志委員長、佐藤百合子委員、平塚康晴委員、橘文紀委員</p> <p>※欠席者：堀田隆委員、宗像金三委員</p> <p>【事務局：6名】</p> <p>小山健幸学校管理課長、半沢一寛学校教育推進課長 外</p>

1 開 会	
事務局	<p>第2回郡山市学校教育審議会を開会する。</p> <p>出席委員は過半数を超えているため、郡山市学校教育審議会条例第6条第2項により会議は成立していることを報告する。また、議事は会長が議長となり進めていただく。</p>
2 報 告	
議 長	事務局から弾力的運用制度の現状についての説明をお願いします。
事務局	【弾力的運用制度の現状についての説明(資料)】
委 員	特認校制は、小泉小学校の児童が西田学園に就学できないが、就学出来るようにしてはどうか。
事務局	そのような声があることは知っているが、小規模校から児童を減らすことはこの制度の趣旨に合わない。
委 員	富田東小学校に入学する児童数のピークはいつか。
事務局	令和元年10月1日現在の推計値では、令和3年度の新1年生186名がピークと考えている。

委員	なぜ、過大規模校の現状に、富田中学校が記載されているのか。
事務局	富田中学校の教室数は、25 が最大であり、推計値ではあるが令和 3 年度は、26 教室が必要となるので、報告させていただいた。  学級編制では、1 学級の生徒数は、1 年が 35 人、2・3 年は 40 人が国の法律上の基準である。富田中学校の南側教室は廊下側の壁が移動できる構造になっているので、1 学級の生徒数が多くなっても、対応できるものと考えている。
委員	富田中学校に入学する生徒数のピークはいつか。
事務局	令和元年 10 月 1 日現在の推計値では、令和 6 年度の新 1 年生 260 名がピークと考えている。
委員	令和 6 年度は、1 学級の生徒数を多くするやり方で、対応できるのか。
事務局	現時点では、対応できると考えている。
議長	報告が終了したので議長職を解かせていただく。
3 その他	
委員	中高一貫校について伺いたい。
事務局	県では「中通りに 1 校」という考えが示されたが、具体的な内容についてはまだわからない。地元青年会議所も要望活動をしていて、教育長も県に要望している。
事務局	平成 30 年 7 月 25 日から今年度末まで、特別委員として「通学区域の弾力的運用制度の制度設計」に対し、ご意見をいただいた御礼を述べる。
4 諸連絡	
事務局	審議会終了後、「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」に対しての、事業評価・検証委員会を開催するので、お願いしたい。
5 閉会	
事務局	以上をもって、第 2 回郡山市学校教育審議会・特別委員会を閉会する。